

理学療法学科 [3年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

理学療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 医学および理学療法の専門知識と技能を学ぶための基礎学力を身につけている人
- 3 疾病や障害を持つ人の気持ちに共感し、障害の予防および改善に取り組む意欲を持っている人
- 4 保健、医療、福祉に強い関心を持っている人

CP

教育課程編成実施の方針

カリキュラムポリシー

理学療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせる授業を行う

- 1 1年次には、基礎科目および専門基礎科目によって医療人のプロフェッショナリズム、リハビリテーションおよび理学療法で問題を解決する思考の基礎を培う
- 2 2年次には、専門科目によって骨関節障害、神経障害、内部障害などに対する基本的理学療法の知識と技能を修得させる
- 3 3年次には、臨床実習で一連の理学療法を経験し、実践的な態度、知識、技能を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

理学療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる理学療法士の知識と技能を身につけている
- 2 医療人としてのプロフェッショナリズムとコミュニケーション能力を身につけている
- 3 臨床推論に基づいた基本的理学療法を提供するための基礎知識および基礎技能を身につけている
- 4 理学療法士国家試験に合格できる知識を身につけている

目指す資格

- 理学療法士 [国家資格]

	1年次		2年次		3年次		
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	
到達目標	医療人ならびに理学療法士としてのプロフェッショナリズムを身につける。理学療法専門科目を学ぶための土台となる基礎科学、解剖学、生理学、運動学を身につける。	理学療法の概要を理解する。専門知識および技術を学ぶ際の土台となる臨床医学、バイオメカニクスを身につける。	疾患別理学療法治療学を学ぶ際の土台となる基礎理学療法学を身につける。多様な障害に共通する義肢装具療法、物理療法、住環境整備を身につける。	疾患別理学療法 (骨関節疾患、神経疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、小児疾患、糖尿病、がんなど) の理論および技術を身につける。	総合臨床実習は診療参加型で行い、一連の実践的理学療法プロセス (情報収集と検査測定→臨床推論→臨床判断→理学療法の実施) を身につける。		
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 講義 リハビリテーション医学概論 講義 生化学 講義 解剖運動学 I 講義 解剖生理学 I 実技 解剖運動学 II 講義 解剖生理学 II 講義 物理学 演習 情報科学 講義 心理学 演習 コミュニケーション論 演習 人間育成学 I 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 理学療法概論 講義 リハビリテーション整形外科 講義 リハビリテーション神経学 講義 リハビリテーション内科学 講義 人間発達学 講義 小児科学 実習 解剖学実習 講義 人間工学 講義 精神医学 講義 臨床心理学 講義 一般臨床医学 実技 理学療法評価学 I 実習 見学実習 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 保健医療福祉論 講義 基礎理学療法学 I 講義 基礎理学療法学 II 講義 基礎理学療法学 III 講義 基礎理学療法学 IV 講義 リハビリテーション診断学 講義 運動療法学 講義 日常生活活動学 講義 義肢装具学 I 演習 統計学 講義 生活環境学 I 講義 老年学 講義 英語 実技 理学療法評価学 II 実習 評価実習 I 演習 人間育成学 II 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 整形外科疾患の理学療法 I 講義 整形外科疾患の理学療法 II 講義 整形外科疾患の理学療法 III 講義 中枢神経疾患の理学療法 I 講義 中枢神経疾患の理学療法 II 講義 内部障害の理学療法 I 講義 内部障害の理学療法 II 講義 内部障害の理学療法 III 講義 発達障害の理学療法 実習 物理療法学 講義 義肢装具学 II 演習 理学療法研究論 講義 生活環境学 II 講義 地域理学療法学 実技 理学療法評価学 III 演習 動作分析セミナー 実習 評価実習 II 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 理学療法管理学 実習 ペーパーベシエントセミナー 実習 総合臨床実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 実習 総合臨床実習 II 理学療法士国家試験 	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 4月 入学前学習 7月 入学式 8月 国際交流会 8月 穴吹祭 8月 新入生オリエンテーション 8月 夏休み 9月 スポーツ大会 12月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 見学実習 3月 医療系海外研修 (※希望者) 3月 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 7月 国際交流会 8月 穴吹祭 8月 夏休み 9月 スポーツ大会 12月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 評価実習 I 3月 医療系海外研修 (※希望者) 3月 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 7月 国際交流会 8月 穴吹祭 8月 夏休み 9月 スポーツ大会 12月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 評価実習 II 3月 医療系海外研修 (※希望者) 3月 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 就職ガイダンス 5月 穴吹祭 7月 スポーツ大会 8月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 総合臨床実習 I 5月 総合臨床実習 II 7月 国家試験対策 8月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 総合臨床実習 I 5月 総合臨床実習 II 7月 国家試験対策 8月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 総合臨床実習 I 5月 総合臨床実習 II 7月 国家試験対策 8月 学生親睦会 12月 冬休み 2月 卒業式

主な科目内容	
リハビリテーション医学概論	リハビリテーション医学の概要を理解し、これから学ぶ臨床医学や専門分野に対する意識を高める。
理学療法概論	理学療法の概要、歴史、役割、過程、モデル、職種、各病期における理学療法の意義や目的を学ぶ。
保健医療福祉論	社会保障制度 (医療保険、介護保険など)、関連法規、地域包括ケアシステム、施策の動向について学ぶ。
理学療法管理学	理学療法の実施とその対応、実施後の診療記録と書類管理、他職種との業務調整、カンファレンス、理学療法機器の保守点検・安全管理、労務管理などについて学ぶ。
解剖運動学 I・II	骨・関節・靭帯・筋・腱の構造と機能、関節運動のメカニズム、体表面解剖および断面解剖、機能解剖学的触診技術を学ぶ。
解剖生理学 I・II	神経 (末梢・中枢神経系) および内臓 (呼吸器・循環器・泌尿器・消化器など) の構造と機能、運動制御と運動学習について学ぶ。
リハビリテーション整形外科	骨関節障害を引き起こす主な疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション神経学	中枢神経・末梢神経・筋の障害を引き起こす主な疾患 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション内科学	理学療法的主要な対象となる内部障害の原因疾患 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
人間発達学	胎児期から老年期に至るまでの、身体的な変化及び精神的な発達とそれぞれの時期の特徴を学ぶ。発達スクリーニング検査、反射や反応について学ぶ。
小児科学	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
基礎理学療法学 I・II・III・IV	様々な疾病に共通する機能障害 (疼痛、筋緊張異常、関節可動域制限、筋力低下、創傷、靭帯損傷、骨折、運動麻痺、感覚異常など) の病態や修復過程を学ぶ。
整形外科疾患の理学療法 I・II・III	骨関節疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靭帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
中枢神経疾患の理学療法 I・II	中枢神経・末梢神経・筋の障害 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
内部障害の理学療法 I・II・III	内部障害 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) に対する理学療法の理論と方法、病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
発達障害の理学療法	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
物理学	運動療法および物理療法に必要な力学 (速度、加速度、力、モーメント、運動エネルギー、圧力、熱エネルギー、電磁波) について学ぶ。
人間工学	基本動作 (寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行) のメカニズムを学ぶ。
運動療法学	関節可動域制限、筋力低下、持久力低下、姿勢異常、バランス・平衡機能低下などに対する運動療法の理論と方法を学ぶ。
日常生活活動学	日常生活活動 (手段的日常生活活動を含む) の概念、範囲、評価方法 (Barthel index, FIM など)、基本動作及びセルフケアの練習方法を学ぶ。
義肢装具学 I・II	義肢装具・福祉用具・車椅子などの種類、適応、適合性の確認、調整の方法について学ぶ。
情報科学	情報の意味および価値を理解するとともに、情報を IT (Information Technology) を使って有効な形態に加工し活用する技術を学ぶ。
統計学	基本統計量の計算、確率変数、各種分布、各種の統計量の推定・検定の意味を学ぶ。
理学療法研究論	EBM、EBPT、エビデンスレベル、診療ガイドライン、研究倫理、研究方法 (研究疑問・研究仮説・研究デザイン) などについて学ぶ。
見学実習～総合臨床実習 I・II	診療参加型臨床実習により、対象者との関係性、多職種との関係性、理学療法プロセスを学び、理学療法評価、リスク管理、理学療法治療技術を実践する。

作業療法学科 [3年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

作業療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 作業療法を修得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- 3 自分の考えを伝えるためのコミュニケーション力・表現力を有している人
- 4 保健医療福祉業界の専門職業人として社会に貢献する意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

作業療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせる授業を行う

- 1 1年次では、基礎分野科目と基礎医学・臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける
- 2 2年次では、各専門分野について、段階的な講義・演習・実習の教育カリキュラムを通して専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う
- 3 3年次では、医療福祉機関において臨床実習を行い、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法と情熱をもって地域貢献できる使命感と探究心を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

作業療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる作業療法士の知識と技能を身につけている
- 2 対象者との信頼関係を築き、医療チームの一員として協働できるコミュニケーション能力を身につけている
- 3 対象者が抱える問題解決を意欲的に取り組む姿勢を身につけている
- 4 医療人としてのプロフェッショナリズムを身につけている

目指す資格

- 作業療法士 [国家資格]

到達目標	1年次		2年次		3年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
基礎分野科目と基礎医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。	基礎分野科目と基礎医学および臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。	身体障害や精神障害など各専門分野における専門知識と技能を身につける。	各専門分野における専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う。	医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法を身につける。	保健医療福祉の実際を学び、情熱をもって地域貢献できる保健医療福祉への使命感と探究心を身につける。	
<ul style="list-style-type: none"> 講義 論理学 演習 情報科学 演習 健康科学 演習 コミュニケーション論演習 I 講義 社会学 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 英語 講義 健康管理学 講義 臨床心理学 講義 精神医学 講義 精神障害作業療法概論 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 地域・国際コミュニティ論 演習 コミュニケーション論演習 II 講義 保健医療福祉連携論 講義 精神障害作業療法 I 講義 発達障害作業療法 I 講義 生活行為学 II 講義 整形外科 II 講義 運動器作業療法評価学 講義 運動器疾患作業療法 I 講義 義肢学 講義 老年学 講義 神経病 II 講義 中枢神経疾患作業療法 I 講義 神経筋作業療法評価学 講義 作業療法管理学 I 実習 基礎作業学実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 地域作業療法 講義 就労支援技術論 講義 精神障害作業療法 II 講義 発達障害作業療法 II 講義 生活行為向上マネジメント学 講義 住環境整備論 講義 福祉用具学 講義 運動器疾患作業療法 II 実習 装具学実習 講義 高齢期作業療法 講義 中枢神経疾患作業療法 II 講義 作業療法理論 講義 作業療法管理学 II 実習 基礎作業学実習 II 演習 作業療法評価学演習 I・II 実習 評価実習 	<ul style="list-style-type: none"> 医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の実際を学び、情熱をもって地域貢献できる保健医療福祉への使命感と探究心を身につける。 	
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> 講義 心理学 講義 人間発達学 講義 人間工学 講義 上肢解剖運動学 I 講義 上肢解剖運動学 II 講義 下肢体幹解剖運動学 講義 内臓学 講義 運動生理学 I 講義 運動生理学 II 講義 リハビリテーション医学概論 講義 作業療法概論 実習 見学実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 精神障害作業療法学概論 演習 解剖学実習 講義 整形外科 I 講義 内科学 講義 一般臨床医学 I 講義 一般臨床医学 II 講義 運動生理学 III 講義 神経病 I 演習 運動生理学演習 講義 基礎作業学 講義 作業療法評価学概論 実習 見学実習 II 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 地域・国際コミュニティ論 演習 コミュニケーション論演習 II 講義 保健医療福祉連携論 講義 精神障害作業療法 I 講義 発達障害作業療法 I 講義 生活行為学 II 講義 整形外科 II 講義 運動器作業療法評価学 講義 運動器疾患作業療法 I 講義 義肢学 講義 老年学 講義 神経病 II 講義 中枢神経疾患作業療法 I 講義 神経筋作業療法評価学 講義 作業療法管理学 I 実習 基礎作業学実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 地域作業療法 講義 就労支援技術論 講義 精神障害作業療法 II 講義 発達障害作業療法 II 講義 生活行為向上マネジメント学 講義 住環境整備論 講義 福祉用具学 講義 運動器疾患作業療法 II 実習 装具学実習 講義 高齢期作業療法 講義 中枢神経疾患作業療法 II 講義 作業療法理論 講義 作業療法管理学 II 実習 基礎作業学実習 II 演習 作業療法評価学演習 I・II 実習 評価実習 	<ul style="list-style-type: none"> 医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の実際を学び、情熱をもって地域貢献できる保健医療福祉への使命感と探究心を身につける。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 4月 入学前学習 入学式 穴吹祭 新入生オリエンテーション 7月 国際交流会 8月 見学実習 I 9月 夏休み 12月 スポーツ大会 2月 学生親睦会 3月 冬休み 3月 見学実習 II 医療系海外研修 (※希望者) 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 7月 国際交流会 穴吹祭 8月 夏休み 9月 スポーツ大会 11月 評価実習 12月 学生親睦会 2月 冬休み 3月 就職講演会 医療系海外研修 (※希望者) 春休み 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 就職ガイダンス 5月 穴吹祭 7月 スポーツ大会 9月 総合臨床実習 I 11月 総合臨床実習 II 12月 国家試験対策 2月 学生親睦会 3月 冬休み 3月 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 総合臨床実習 I 5月 穴吹祭 7月 スポーツ大会 9月 総合臨床実習 II 11月 国家試験対策 12月 学生親睦会 2月 冬休み 3月 卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> 医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の実際を学び、情熱をもって地域貢献できる保健医療福祉への使命感と探究心を身につける。

主な科目内容	
心理学	こころのしくみと行動を科学的な方法で探求し、作業療法を展開するために学ぶ。
論理学	授業や実習に必要な国語力の土台である読解力、文章作成能力を学ぶ。
社会学	家族、コミュニティなどの集団、組織および社会構造やその変動について学ぶ。
人間工学	人と環境、作業との関係性を学び、住環境整備論、福祉用具学につなげる。
健康科学	健康とは何か、ロコモティブシンドロームやサルコペニアについて学び、その防止に向けた体操を実践する。
上肢解剖運動学 I・II	人体の構造と骨の働きや関節の基本構造・筋・神経・血管など総論を学び、上肢帯と手指の運動についての理解を深める。
運動生理学 I・II・III	神経(中枢、末梢)・筋・感覚・循環(血液と心臓)・呼吸・代謝・内分泌などの生理を学び、相関性を理解する。
人間発達学	発達の原則、発達理論、胎生期～老年期の発達(身体的、精神的発達) ADL、遊びの発達等について学ぶ。
一般臨床医学 I・II	救命救急医療をはじめ医学一般の代表的な疾患について、その概要・症状および治療(薬物療法や栄養療法など)方法について習得する。
神経病 I・II	神経変性疾患や脱髄性疾患など、中枢および末梢神経疾患の病因・臨床症状・治療などについて学ぶ。
精神医学	精神症状や統合失調症、気分障害などの疾患について、その特徴的な症状や治療法について学ぶ。
健康管理学	健康の概念を理解し、作業療法士が対象者の健康増進、疾病の予防に関わる必要性を理解する。
保健医療福祉連携論	各領域における機関の役割と領域間での連携および地域包括ケアシステムについて学ぶ。
地域・国際コミュニティ論	コミュニティセンターの活動を担当者から話を聞いたり、各国のOTの状況等について調べ、地域や世界におけるOTの活躍を学ぶ。
作業療法概論	作業について、作業療法の領域、倫理、多職種連携、作業療法の目的について学ぶ。
作業療法理論	作業療法の歴史・理論概要、作業科学、人間作業モデルやカナダモデル、作業療法介入プロセスモデルなどの作業療法理論について学ぶ。
作業療法管理学 I・II	作業療法業務に必要な物品管理・スケジュール管理・診療報酬・関係法規および研究法・教育法について学ぶ。
運動器作業療法評価学	筋力、上肢機能などの検査・測定について学習し、ICFからの問題点を抽出し、目標設定ができるようにする。
中枢神経疾患作業療法 I・II	脳血管障害や脊髄損傷など中枢神経疾患対象者の、急性期・回復期・生活期における関わりを学ぶ。
発達障害作業療法 I・II	小児の正常発達について学び、脳性麻痺や自閉スペクトラム症などの発達障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチ方法を学ぶ。
精神障害作業療法 I・II	統合失調症をはじめ、気分障害・パーソナリティ障害・神経症障害などの精神障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチの方法を学ぶ。
高齢期作業療法	高齢者の動向、制度の変遷、高齢期における作業療法実践、認知症、高齢期の終末期について学ぶ。
生活行為学 I・II	基本動作の見方、日常生活活動の基本的考え方などを学び、各生活行為の特徴を観察・分析して、その改善に向けた指導法について学ぶ。
住環境整備論	バリアフリーやユニバーサルデザインおよび住宅改修について学ぶ。
福祉用具学	福祉用具全般(種類や使用方法、適応やリスク管理など)について学び、自動具を製作する。